



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年10月31日

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3744 URL https://www.sios.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績 (2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	10,135	7.1	△74	—	△34	—	△74	—
2018年12月期第3四半期	9,462	1.9	107	△41.9	118	△39.1	47	△39.7

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 △93百万円(—%) 2018年12月期第3四半期 41百万円(△27.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	△8.65	—
2018年12月期第3四半期	5.52	5.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	5,137	1,278	24.1
2018年12月期	5,330	1,359	24.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 1,236百万円 2018年12月期 1,319百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、前事業年度に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	3.1	200	△31.2	210	△32.4	140	△38.0	16.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	8,874,400株	2018年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	205,768株	2018年12月期	224,268株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	8,663,546株	2018年12月期3Q	8,635,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

※ 本資料に記載されるサービス・商品名等は、当社または各社等の登録商標または商標です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<当第3四半期連結累計期間の概況>

当社グループが属するIT業界においては、新たな技術革新の波が同時並行で進展し、新規の事業機会が次々に誕生する外部環境となっています。このような中、当社グループは、中期経営計画において2021年までを事業基盤を固める3年間と位置づけ、IT業界をリードするインフルエンサーを目指し、研究開発投資を始めとした施策を実行しています。

このような取り組みの結果、各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

① オープンシステム基盤事業

事業継続ソリューションは、主力製品の「LifeKeeper」(*1)の販売が順調に推移したこと、昨年12月に吸収合併した株式会社サードウェアの製品ラインナップが加わったこと等により、好調な増収となりました。また、Red Hat Enterprise Linux(*2)をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品(*3)は増収となりました。これらにより、売上高は5,722百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

利益面では、前述の通り、事業継続ソリューションが好調に推移したこと等から、セグメント利益は53百万円（同2.4%増）となりました。

② アプリケーション事業

金融機関向けシステム開発・構築支援は、好調な増収となりました。また、MFP向けソフトウェア(*4)製品、「Gluegentシリーズ」(*5)は堅調な増収となりました。一方、金融機関向け経営支援システム販売は第4四半期主体で見込んでいることから、前年同期比では減収となりました。これらにより、売上高は4,413百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

利益面では、金融機関向けシステム開発・構築支援において、第2四半期までの不採算案件は収束したものの、当該案件の影響を補いきれず、減益となりました。また、利益率の高い金融機関向け経営支援システム販売が減収となったこと、「Gluegentシリーズ」、MFP向けソフトウェア製品等において研究開発費が増加したことにより、セグメント損失は128百万円（前年同期は54百万円の利益）となりました。

なお、研究開発の成果として、サブスクリプション(*6)ビジネスを支援するプラットフォーム「SIOS bilink」のβ版、MFP向けソフトウェア製品の画像解析技術によって文書内の秘密印を検知し通知するサービス「AI秘密印検知サービス」の提供を開始しました。また、MFP向けソフトウェア製品において、インターフェースの刷新等によりユーザーのコスト削減と利便性向上に寄与する「Quickスキャン V5」を9月より、「SpeedocV4 for RICOH」を10月より提供を開始しています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,135百万円（前年同期比7.1%増）となり、過去最高の第3四半期売上高となりました。

利益面では、前述の通り、オープンシステム基盤事業は増益となりましたが、アプリケーション事業の減益により、営業損失は74百万円（前年同期は営業利益107百万円）、経常損失は34百万円（前年同期は経常利益118百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は74百万円（前年同期は純利益47百万円）となりました。

また、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本＋有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：△7百万円（前年同期は167百万円）

ROIC（年率換算数値）：△3.2%（前年同期は4.6%）

(*1) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(*2) Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するLinux OS。

(*3) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するオープンソースの製品。

(*4) MFP向けソフトウェア

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。

(*5) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(*6) サブスクリプション

ソフトウェア等の製品・サービスを、利用量に応じて従量課金する課金モデル。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、受取手形及び売掛金の減少239百万円、現金及び預金の増加199百万円等の要因により、4,163百万円（前連結会計年度末比5.0%減）となりました。

固定資産は、ソフトウェア仮勘定の増加74百万円、有形固定資産の減少24百万円等の要因により、974百万円（同2.9%増）となりました。

この結果、総資産は、5,137百万円（同3.6%減）となりました。

②負債

流動負債は、受注損失引当金の減少36百万円等の要因により、3,128百万円（前連結会計年度末比0.8%減）となりました。

固定負債は、長期借入金の減少100百万円等の要因により、730百万円（同10.6%減）となりました。

この結果、負債合計は、3,859百万円（同2.8%減）となりました。

③純資産

純資産合計は、当四半期において親会社株主に帰属する四半期純損失74百万円を計上したこと等の要因により、1,278百万円（前連結会計年度末比5.9%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における営業利益以下の各利益項目がマイナスに転じているものの、前述の通り、アプリケーション事業の売上を第4四半期主体で見込んでいるため、現時点において変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,138,821	2,338,152
受取手形及び売掛金	1,613,603	1,373,647
仕掛品	132,680	45,167
前渡金	155,332	203,919
その他	343,735	203,249
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	4,383,972	4,163,936
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	135,774	116,844
その他（純額）	85,605	79,646
有形固定資産合計	221,380	196,491
無形固定資産		
のれん	1,644	1,000
ソフトウェア	35,791	40,370
ソフトウェア仮勘定	49,931	124,668
その他	2,363	2,027
無形固定資産合計	89,730	168,067
投資その他の資産		
投資有価証券	309,148	308,960
退職給付に係る資産	39,574	42,543
差入保証金	216,956	207,656
その他	74,887	55,400
貸倒引当金	△5,071	△5,071
投資その他の資産合計	635,495	609,489
固定資産合計	946,606	974,048
資産合計	5,330,579	5,137,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	576,123	681,330
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	133,116	133,116
リース債務	6,710	7,429
未払法人税等	44,951	28,515
前受金	1,730,552	1,864,747
賞与引当金	39,141	28,620
受注損失引当金	36,864	-
その他	537,125	335,214
流動負債合計	3,154,585	3,128,973
固定負債		
長期借入金	545,923	445,253
退職給付に係る負債	214,916	220,835
リース債務	15,448	12,914
長期預り金	11,632	11,632
その他	28,467	39,615
固定負債合計	816,388	730,251
負債合計	3,970,973	3,859,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	472,257	-
利益剰余金	△429,287	△29,788
自己株式	△95,038	△87,198
株主資本合計	1,429,451	1,364,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,497	88,012
為替換算調整勘定	△200,465	△216,164
その他の包括利益累計額合計	△109,967	△128,151
新株予約権	40,121	42,378
純資産合計	1,359,605	1,278,759
負債純資産合計	5,330,579	5,137,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	9,462,803	10,135,952
売上原価	6,445,222	7,028,416
売上総利益	3,017,580	3,107,535
販売費及び一般管理費	2,910,535	3,181,770
営業利益又は営業損失(△)	107,045	△74,234
営業外収益		
受取利息	9,167	9,606
為替差益	-	25,135
貸倒引当金戻入額	4,748	-
持分法による投資利益	4,830	1,778
業務受託料	1,800	2,050
その他	7,028	10,969
営業外収益合計	27,574	49,539
営業外費用		
支払利息	3,223	2,928
投資事業組合運用損	4,733	12
デリバティブ評価損	2,731	6,082
為替差損	5,204	-
その他	2	435
営業外費用合計	15,896	9,459
経常利益又は経常損失(△)	118,723	△34,154
特別利益		
関係会社株式売却益	-	50,999
子会社清算益	8,350	-
新株予約権戻入益	-	450
その他	896	-
特別利益合計	9,246	51,450
特別損失		
固定資産除却損	22	-
投資有価証券評価損	13,718	-
特別損失合計	13,740	-
税金等調整前四半期純利益	114,229	17,295
法人税、住民税及び事業税	39,086	61,320
法人税等調整額	27,440	30,903
法人税等合計	66,527	92,224
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,701	△74,928
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	47,701	△74,928

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	47,701	△74,928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	△2,484
為替換算調整勘定	△6,365	△15,218
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△480
その他の包括利益合計	△6,110	△18,183
四半期包括利益	41,590	△93,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,590	△93,111

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月28日開催の第22回定時株主総会の決議により、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を480,279千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	アプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,402,043	4,060,609	9,462,653	150	9,462,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,663	3,290	13,954	△13,954	—
計	5,412,706	4,063,900	9,476,607	△13,804	9,462,803
セグメント利益	52,695	54,199	106,895	150	107,045

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
8,882,756	439,000	84,198	56,848	9,462,803

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,722,027	4,413,744	10,135,772	180	10,135,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,014	1,014	△1,014	—
計	5,722,027	4,414,758	10,136,786	△834	10,135,952
セグメント利益 又は損失 (△)	53,938	△128,353	△74,414	180	△74,234

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
9,517,751	445,416	123,002	49,781	10,135,952

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。